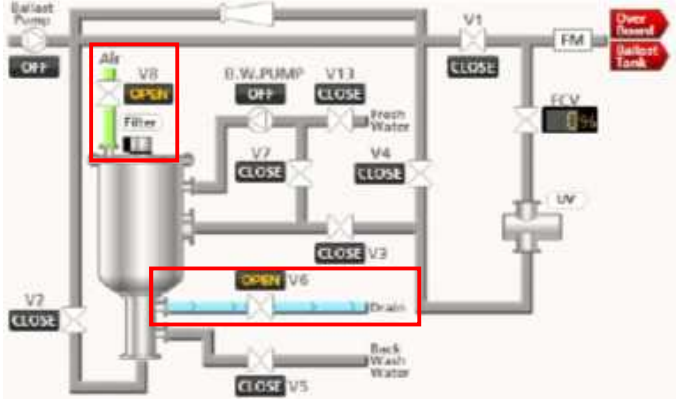


フィルタエレメント清水洗浄方法 (HK type)

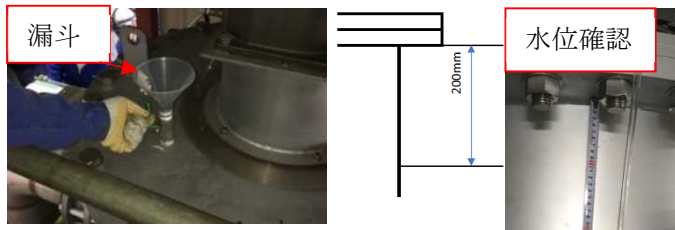
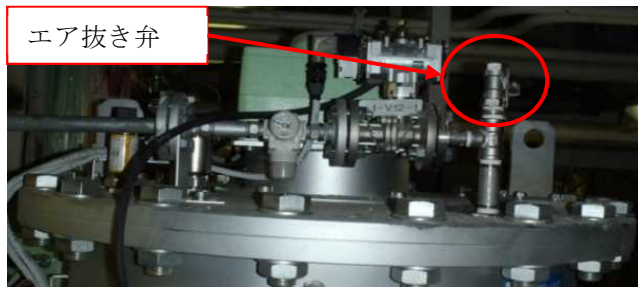
①排水用のエア圧力が 0.2MPa になっている事をフィルタユニット上部の圧力計で確認してください。



②Manual Operation で空気入口弁(V8)と空間洗浄排水弁(V6)を開いてフィルタユニット内の水を排水してください。排水時間は型式によって異なります。



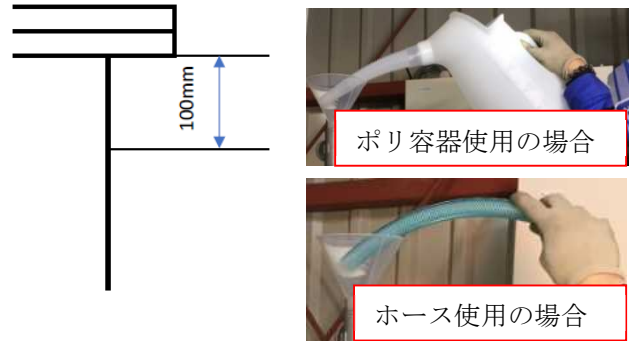
③漏斗等を使用してエア抜き弁から清水を注入してください。なお、洗浄剤の投入量分の容積を確保する為、水面計で水位を確認しながら、水位が下図の位置(200mm)になるまで清水を供給してください。※清水を注入する際はホースを直結しないでください。(エア抜きが出来る状態にしてください)



④ 表1を参照し、容器に清水を入れて洗浄剤(スケールデストロイヤー)を溶かしてください。なお、表2を参照し、フィルタ出入口フランジから各バルブ(V2,V3)までの配管長さ分の洗浄剤を追加して溶かしてください。

⑤漏斗等を使用してエア抜き弁から④で溶かした洗浄溶液を投入してください。

⑥洗浄剤を投入後、水面計で水位を確認しながら、水位が下図の位置(100mm)になるまで清水を供給してください。
※清水を注入する際はホースを直結しないでください。(エア抜きが出来る状態にしてください)



⑦静置時間経過後、表1, 2を参照し中和剤を清水で溶かして投入してください。なお、pH試験紙で確認しながらpHが7になるまで中和してください。

⑧Manual Operation で空気入口弁(V8)と空間洗浄排水弁(V6)を開いてフィルタユニット内の水を排水してください。
※中和剤投入後は速やかに排水してください。
※排水完了後、自動運転でフィルタ差圧が20kPa以下になっていることを確認してください。

【注意】

- ・洗浄溶液を投入時、化学反応によってフィルタ内部の水が噴き出す可能性が有りますので、保護具を着用して作業ください。
- ・フィルタエレメントを洗浄しても20kPa以下にならない場合は、他に原因があります。弊社営業所までご連絡ください。

<表2>フィルタ出入口配管長による洗浄剤及び中和剤投入量

配管口径	8時間静置	24時間静置
250A	0.4kg/m	0.2kg/m
300A	0.6kg/m	0.3kg/m
350A	0.8kg/m	0.4kg/m
400A	1.0kg/m	0.5kg/m
450A	1.2kg/m	0.6kg/m

<表1>フィルタ型式による洗浄剤及び中和剤投入量

BWMS フィルタ型式	8時間静置	24時間静置
HK-300F	8kg	4kg(2袋)
HK-450F	12kg	6kg(3袋)
HK-600F	16kg	8kg(4袋)
HK-900F	24kg	12kg(6袋)

※海水使用時は洗浄剤及び中和剤の量を1.1倍にしてください。